

会員拡大・研修委員会 基本方針（案）

会員拡大・研修委員会 委員長 田中 徳晃

1 昨年 65周年という一つの節目を迎えた一般社団法人佐賀青年会議所は今もなお会員数
2 の減少という課題を抱えています。このような社会情勢でも、我々は明るい豊かな社会の
3 創造に向け、活動運動を推進していくことが求められ、その原動力として全会員で拡大に
4 取り組み、メンバーの資質向上を目指し、組織を強化していく必要があります。

5 まずは、人財を発掘し会員拡大に繋げていくために、候補者の情報を収集し共有・連携
6 できる体制を整えることで、メンバー一人ひとりの拡大への意識を高め、ともに行動する
7 仲間を増やしていきます。そして、より一層活発的な青年団体にするため、会員拡大・研
8 修委員会が率先して、佐賀青年会議所の魅力を発信していくことで、会員拡大に繋げます。
9 さらに、仮入会者を正式入会へと導くために、仮入会者と現役メンバーとのコミュニケーションを取る場を設けることで、相互の理解と友情を深め、今後につながる信頼関係を築
10 き上げます。また、仮会員の参加意欲や絆を高めるために、研修においてコミュニケーションの場を設けて、メンバー同士の対話を大切にする研修をし、仲間と共に青年会議所の輪を広げる活動へつなげます。そして、メンバーが青年会議所の魅力や意義について再
11 認識するために、運動の意義について学び直す仕組みを作り、青年会議所の活動の取り組
12 み意識を高めます。さらに、地域発展の為に第一線で活動をし、数々の功績を残してこら
13 れた卒業生に感謝の気持ちを伝えるために、精一杯の労いの心を込めて卒業生を送る会を
14 開催することで、卒業生と現役メンバーの親睦を深めます。

15 決まった時間の中で、佐賀青年会議所の魅力をわかっていただき、時代に合わせた会員
16 の資質向上を行うとともに、我々は「修練」「奉仕」「友情」の三信条のもと、「銀鱗躍動」
17 のように地域で勢いよく輝き続ける団体を目指します。

18

19 [事業計画]

- 20 1. 新入会員研修の企画・運営（通年）
- 21 2. 現役会員研修の企画・運営（6月）
- 22 3. 厄入厄晴の企画・運営（2月）
- 23 4. 例会の企画・運営（2月・6月・12月）
- 24 5. 九州コンファレンス（糸島）参加者への支援（8月）
- 25 6. 卒業生を送る会の企画・運営（12月）
- 26 7. 会員拡大 拡大目標 全体40名（各委員会8名）（通年）